

エルサルバドル政治経済月報 (2022年4月分)

2022年5月
在エルサルバドル大使館

内政

1. ブケレ大統領の支持率（メキシコ世論調査会社 MITOFSKY による調査）

4月24日、メキシコの世論調査会社 MITOFSKY 社が発表した世界38か国及び地域（米州20か国及び欧州・アジア・オーストラリアの18か国）の首脳の支持率調査において、ブケレ大統領が支持率83%で1位となった。

<http://consulta.mx/index.php/encuestas-e-investigaciones/el-mundo/item/1481-rankmandatar ios>

2. 刑務所の新規建設に係る法案の可決

(1) 4月19日、当国国会は賛成64票（全84議席）で、刑務所の新規建設に係る特別法案を可決した。政権与党新思想党（NI）関係者は、同法案は、3月27日から実施されている憲法で保障される権利の一時的制限措置によって身柄を拘束される容疑者の数が増大している現状に対応するためのものと説明している。

(2) 同法案は、国会において緊急を有する事項に対して認められている委員会での審議を得ない形での本会議における採決で可決された。右に対し、野党議員からは、十分な審議も行わないまま採決されたことへの批判の声が上がっている。

(3) 同法案は、公共事業省が刑務所の新規建設において公共入札を行わずに民間企業と契約を行うことを可能とする内容であり、公共調達法（LACAP）の適用外となる。また、税も免除される。さらに、公共事業省は、刑務所の新規建設のために必要となる不動産を公益のために購入することが可能となり、公共事業省による購入オファーから15日以内に、当該不動産の所有者がその売却に応じない場合、公共事業省は土地収用法を適用することが可能となる。

外交

1. 治安問題に関するエルサルバドル・グアテマラ閣僚会合

(1) 4月12日、治安問題に関するエルサルバドルとグアテマラの閣僚会合が開催され、エルサルバドルからはメリーノ国防大臣、ビジャトロ司法・公共治安大臣、チカス国家文民警察長官、クカロン移民局長、マルティネス税関局長、グアテマラからはバリエントス内務大臣、レジェス国防大臣、エルナンデス国家文民警察長官、ロドリゲス移民局長が出席した。

(2) 両国閣僚は、このような閣僚会合は、両国における治安対策及び犯罪組織撲滅に向けた警察及び軍の間におけるコミュニケーションの円滑化を可能とするものであるとの認識を示した。同会合では、両国国境地帯の治安強化、移民、通関などの議題について意見交換が行われた。

(3) ビジャトロ司法・公共治安大臣は、この会合は、兄弟国であるエルサルバドルとグアテマラの国民及び政府機関が共に歩む道のりを示すものであり、現在、地域が直面する脅威に対し、両国の軍及び警察が対応するための能力の強化に繋がるものである旨述べた。また、同大臣は、ブケレ大統領は、両国国民の発展を阻害する犯罪組織に対峙するための両国間の協力にコミットしている旨述べた。

(4) バリエントス・グアテマラ内務大臣は、同会合は、犯罪組織及び不法移民問題という両国が直面する共通の問題への取り組みを強化するという意味で非常に重要なものであると述べた。

2. 米 국무省による 2021 年版エルサルバドルの人権状況に関する報告書

(1) 米 국무省が発表した 2021 年版エルサルバドルの人権状況に関する報告書は、ブケレ大統領は 2019 年大統領選挙で民主的に選出され、また、2021 年の国会議員選挙及び全国市長選挙も自由かつ公正に行われたと評価しつつも、ブケレ政権のいくつかの問題について指摘している。

(2) 同報告書が指摘するブケレ政権の主な問題点。

ア 身体の不可侵の軽視

治安当局による犯罪組織構成員に対する超法規的な取り締まり、及び、それに伴う同構成員の殺害事案について言及している。

イ 三権分立の軽視

2021 年に政権与党新思想党 (NI) が安定多数の議席数を確保する国会による適切なプロセスを得ない形での最高裁判事及び検察庁長官の罷免等など、三権の分立を軽視する問題がある。

ウ 表現の自由に対する制限

ブケレ政権下ではメディアへの規制、検閲の動きが進んでおり、ジャーナリストに対する嫌がらせ行為も確認されている。エルサルバドル新聞記者連盟 (APES) は、2021 年 1 月～8 月までに 173 件の当局によるジャーナリストに対する暴行があったと記録しているが、この数字は 2020 年同時期との比較において 73% 増となっている。また、2021 年 11 月、複数のジャーナリストがこれらの者が使っている通信機器にスパイウェアが仕込まれている可能性があるとの警告を、アップル社から受け取っている。

エ 汚職問題

政府高官を含む公職者による複数の汚職。最高裁は三権の機関に係る汚職疑惑に関する報告を検察庁に送付したが、汚職及び無処罰の問題は依然続いている。また、ブケレ大統領は野党勢力関係者の汚職疑惑には厳しい措置を執っているが、政府関係者の汚職疑惑に関しては何ら対応していない。

オ 犯罪組織との汚職疑惑

ブケレ政権は 2019 年 10 月より複数の犯罪組織と交渉を行ってきたとネットメディア「El Faro」が報じている。本疑惑に関し、メララ前検察庁長官が捜査を行ってきたが、2021 年 5 月に発足した国会により、同前長官は罷免された。

カ 拷問の実態

2021 年 1 月～8 月末までの期間に、治安当局による拷問等に関する 13 件の訴えが人権擁護官に対しなされている。また、同期間、警察官による不法行為に関する 95 件の訴えがなされているが、そのうち 38 件は警察官による殺人の容疑である。

キ 女性に対する犯罪

15 歳以上の女性のうち 60% が何らかの形での性犯罪にあっているが、治安当局の捜査は不十分なものである。

ク ブケレ大統領の言説

2021 年 6 月 1 日に就任 3 年目を迎えたブケレ大統領が国会で演説を行い、同演説の中で市民団体等を人々の考え方をコントロールする内なる敵と表現し、物議を醸す等、ブケレ大統領の言説は特定の機関などを敵対視するものである。

3. ヒル外務大臣の移民問題・治安に関する閣僚級会合への出席

(1) 4 月 20 日、ヒル外務大臣はエルサルバドル政府を代表して、パナマで開催された移民問題・治安に係る閣僚級会合に出席した。同会合には、パナマのモイネス外務大臣及びピノ治安大臣、米国のプリンケン国務長官及びマヨルカス国土安全保障長官等が出席した。

(2) 同会合においてヒル外務大臣は、安全な移住は一つの選択肢であるべきであり、国民にとって移住が自発的かつ、事前にしかるべき情報を得た上での決断となるように必要な条件を整備する責任が国家にはある旨述べた。また、同外務大臣は、移民輩出国が抱える様々な移民発生の要因を各国が認識し、これらを克服するために各国が協力することが即時求められており、また、移民受け入れ国は、移民がもたらす社会的・経済的貢献を認めるべきであると述べた。その上で、同外務大臣は、人の移動に関する考え方を変え、具体的な成果を上げるために行動を取る

べきであると参加各国に呼びかけた。

(3) ヒル外務大臣はエルサルバドル政府の不法移民問題への取り組みとして、2021年は教育、保健、治安、農業、経済の分野に34億ドルの予算を拠出した旨、また、2022年も同規模の予算を拠出する予定である旨紹介した。また、同外務大臣は、中小企業への金融支援や一時的労働ビザの取得に係るプロセスの簡易化などの取り組みや、治安対策、帰還民のエルサルバドル社会への再統合支援プログラムなどについても言及した。

経済

1. 燃料の固定価格化

(1) 4月4日、当国国会は世界的な燃料価格の上昇に対応すべく、エルサルバドル国内の燃料を固定価格にする法案を可決した。この固定価格は4月5日から2か月間継続される予定である。

(2) 同法案の可決をめぐり、セラヤ財務大臣は燃料の国際価格を引き続き注視していくとともに、政府としては半月毎に1,250万ドル、合計で最大5,000万ドルを負担する予定でいる旨発表したものの、右負担額にかかる財源の説明はされていない。

(3) 地域別固定価格。

ア 東部地域

- (ア) ハイオクガソリン：4.32ドル
- (イ) レギュラーガソリン：4.15ドル
- (ウ) 軽油：4.14ドル

イ 中部地域

- (ア) ハイオクガソリン：4.31ドル
- (イ) レギュラーガソリン：4.15ドル
- (ウ) 軽油：4.14ドル

ウ 西部地域

- (ア) ハイオクガソリン：4.31ドル
- (イ) レギュラーガソリン：4.15ドル
- (ウ) 軽油：4.14ドル

2. 2022年の経済成長率の予測（世界銀行）

(1) 4月7日、世界銀行は2022年におけるエルサルバドルの経済成長率の予測値を発表した。同銀行によれば、当国の経済成長率の予測値はプラス2.9%であり、同数値は前回発表から1.1%の下方修正となり、中米諸国の中ではニカラグアと同様に最も低くなった。

(2) 2022年における中米諸国の経済成長率の予測値は以下のとおり。

- ア パナマ：プラス6.5%
- イ コスタリカ：プラス3.4%
- ウ グアテマラ：プラス3.4%
- エ ホンジュラス：プラス3.1%
- オ エルサルバドル：プラス2.9%
- カ ニカラグア：プラス2.9%

3. 2022年第1四半期の税収額発表

財務省は、当国における2022年第1四半期の税収額が16億3,480万ドル（前年同期比プラス25.1%）になった旨発表した。右額は過去の同四半期において最も高い税収額である。また、2022年第1四半期における所得税の税収については、6億2,980万ドル（前年同期比プラス35.7%）となり、宿泊税は380万ドル（前年同期比プラス122.7%）となった。

4. 新興市場債券インデックス（EMBI）の過去最高値更新

(1) JP モルガン社が発表する当国の EMBI (注: 同数値が高いほど投資リスクが高いとされる) は、18 日に 20.11 ポイントとなり、同社が当国の EMBI を発表し始めた 2007 年以降、過去最高値を記録した。

(2) 当国の EMBI は、2021 年 5 月に国会によって最高裁憲法法定判事 5 名及び検察長官が罷免されて以降上昇し始め、ビットコイン法の発効及びビットコイン債の発行予定が発表されて以降に、更なる上昇を記録した。有識者の間では、EMBI の上昇理由として、国際通貨基金 (IMF) との借款交渉が難航していることや 2023 年 1 月に償還予定の 8 億ドルのユーロ債の資金調達に対する懸念等を挙がっている。

(3) こうした当国の財政状況を受けて、アセベド元中銀総裁は、当国政府が特別引出権 (SDR)、ラテンアメリカ開発銀行 (CAF) からの資金調達、又はビットコイン債の発行により、2023 年 1 月に償還予定の 8 億のユーロ債を賄う可能性がある旨指摘した。

5. 5G の取り組み状況

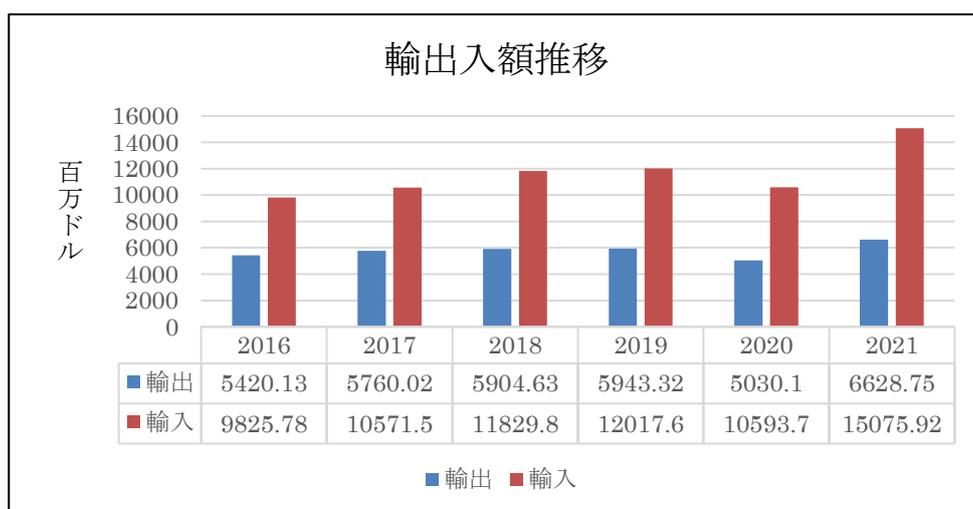
(1) 5G Americas (注: アメリカ大陸の通信プロバイダーと移動通信機器メーカーの業界団体) によれば、メキシコ及び一部の中米諸国 (コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス、パナマ) は 5G にかかる取り組みに着手し始めている一方で、エルサルバドルでは、ニカラグアやベリーズとともに、5G に適した周波数帯のトライアル情報が確認されておらず、取り組みが停滞している旨指摘した。

(2) メキシコは 5G の取り組みが進んでおり、2022 年 2 月、商用利用を可能とする 5G モバイルネットワークを導入し、前年 12 月から新たな事業者が 5G にかかるトライアルをメキシコシティの一部地区で実施している。さらには、2022 年から 2023 年にかけてメキシコは、600MHz、1427MHz-1518MHz 及び 3.5GHz での 5G 提供にかかるオークション計画を予定している。

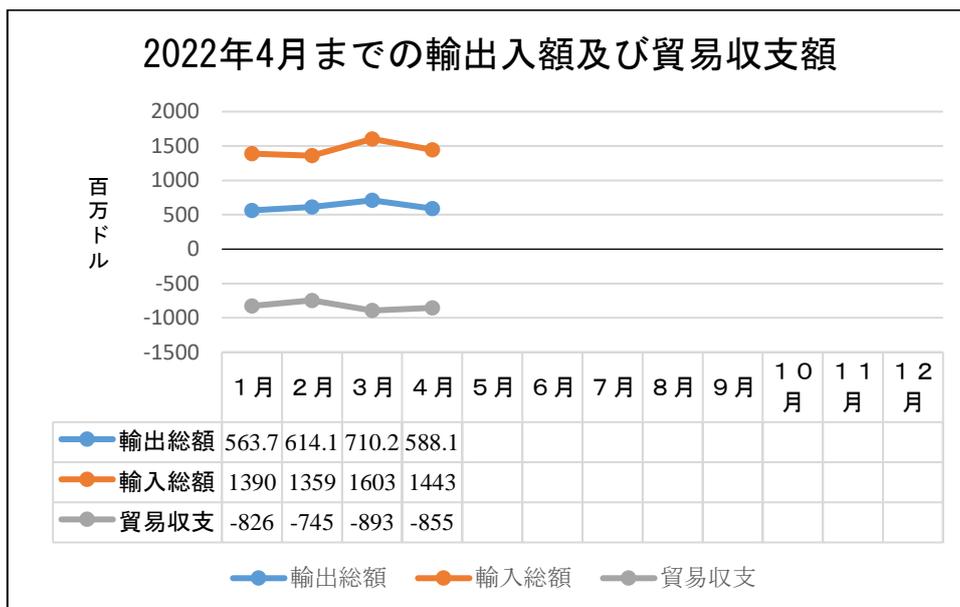
(3) 国際市場においては、中国マーケットの牽引もあり、5G 対応の携帯電話の販売台数が初めて 4G を追い抜き、2022 年 1 月には 5G 対応の携帯電話が市場で 51% を占める結果となった。また、2021 年第 4 四半期における 5G 対応の携帯電話の出荷台数は、前年同期比プラス 35% を記録した。

6. 貿易総額

・ 2021 年の輸出総額は 66 億 2,880 万ドル (前年比 31.8% 増)。輸入総額は 150 億 7,592 万ドル (前年比 47.1% 増) となった。



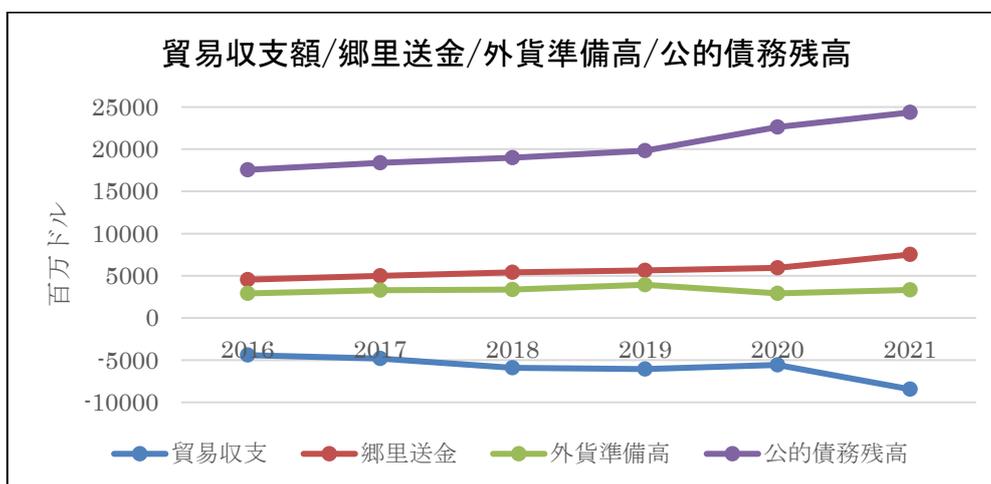
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



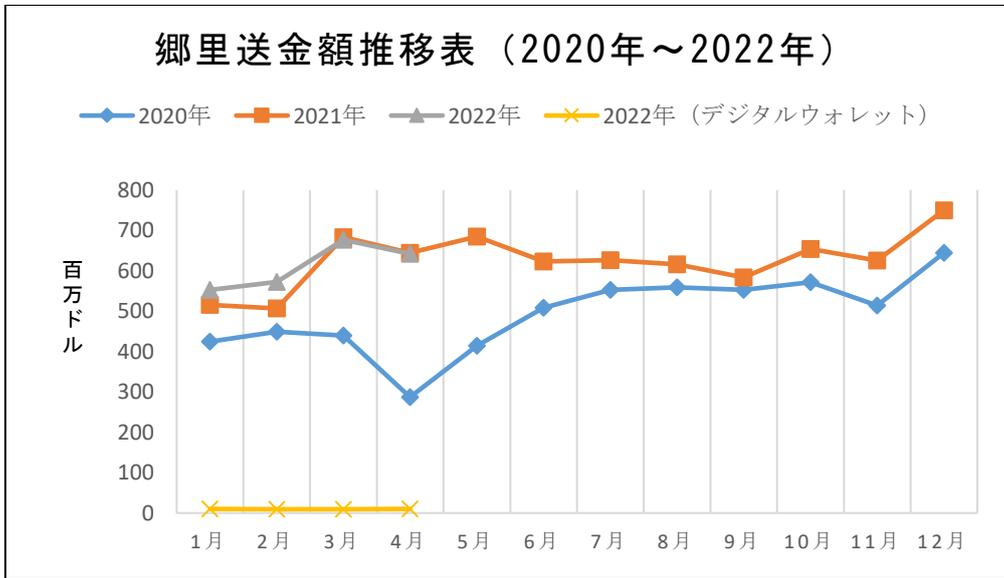
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

7. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・ 2021 年度の貿易収支額はマイナス 84 億 4,720 万ドルとなり、前年より赤字額が 28 億 8,357 万ドル拡大した。
- ・ 2021 年の郷里送金額は 75 億 1,710 万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の 94.9% (71 億 3,050 万ドル) を占めた。



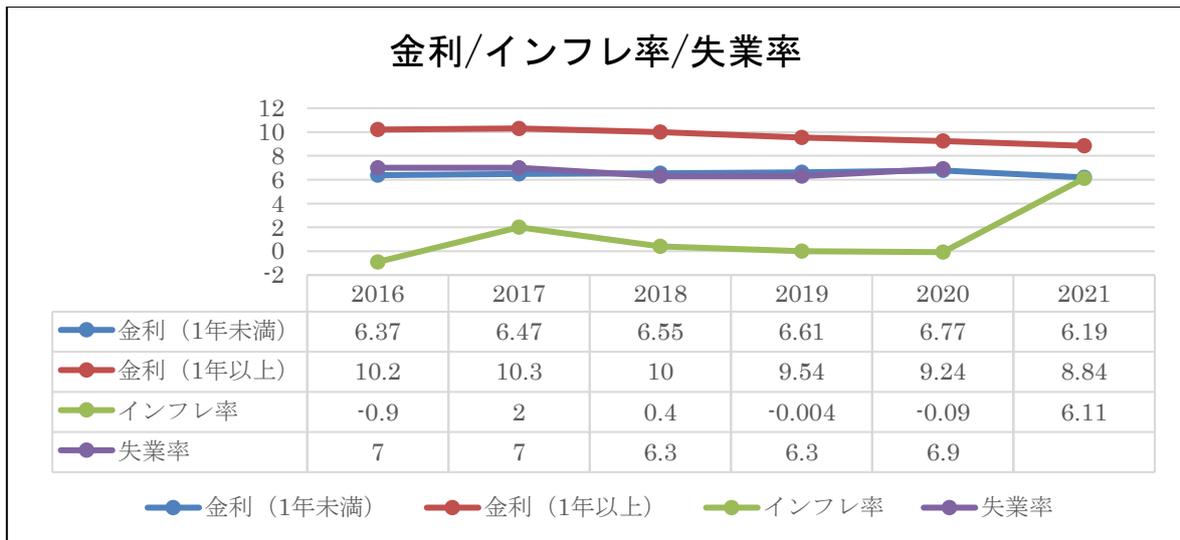
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

8. 金利・インフレ率

・2021年のインフレ率はプラス6.11%であった。また2020年のインフレ率はマイナス0.09%であった。2020年の失業率は6.9%であった。



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

治安

1. 殺人事件の急増を受けた憲法で保障される権利の一時的制限措置の期間延長

4月24日、当国国会は、憲法で保障される権利の一時的制限措置の30日間の期間延長を承認した。この延長は、4月26日から発効した。なお、世論調査会社 CID Galleup 社のアンケートによると、エルサルバドル人口の91パーセントが今回の期間延長を支持している。

2. 聖週間（セマナサンタ）期間中における殺人事件件数の減少

（1）国家文民警察（PNC）の統計によると、本年の聖週間（セマナサンタ）は、他の年と比較して殺人事件が大幅に減少し、エルサルバドルの歴史上で最も安全な年となった。4月10日から17日の8日間で、殺人事件が発生しなかった日が4日間あり、残り4日間は1日1件のみであった。ビジャトロ司法・公共治安大臣は、この結果を踏まえ、「私たちは、エルサルバドルの人々に安全

と幸福をもたらすために働き続ける」と述べた。また、PNC は、エルサルバドルでの殺人事件の減少は、犯罪地域コントロール計画に基づいて行動した結果であると断言した。

(2) 2015 年から 2022 年の聖週間（セマナサンタ）期間中の殺人事件件数

2015 年	133 件
2016 年	154 件
2017 年	78 件
2018 年	73 件
2019 年	105 件
2020 年	19 件
2021 年	33 件
2022 年	4 件

【観光地等における危険度レベル】

レベル1:十分注意区域	レベル2:不要不急の渡航中止区域
国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	プエルタ・デル・ディアブロ
プレシデンテ劇場	
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタテレサ温泉	
スチット旧市街	
サンアンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサブランカ遺跡	
サンタアナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サンミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	行方不明者	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	誘拐
2022年 3月	562	294	331	172	70	148	80	24	244	120	0
2022年 4月	441	163	214	26	45	176	54	20	201	94	0

